

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース			
科目名	動物福祉・倫理					必修・選択必修の別			必修	
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	30 時間	
	2年	前期	15	時間	後期	15	時間			
	3年	前期	-	時間	後期	-	時間			
担当講師	佐藤 湧矢									
	実務経験	有	動物病院で2年の実務経験あり。							
授業概要	動物愛護、動物福祉の発展を学び、動物関連法規やヒトとの関わりから動物福祉への精神を養う。特に、日本と欧米の歴史から動物観の違いを知り、ヒトと動物の関わり方への変遷を学ぶ。5つの自由。が満たされることとは何かを考察する。家庭飼育動物、学校飼育動物、使役動物、産業動物、実験動物、野生動物に存在する生活の質。を学ぶ。							授業形式	講義	
到達目標	動物の死を含め動物看護師として、動物と飼い主の生活の質。に関する知識の習得。									
教科書・教材・服装等	コンパニオンアニマルの新健康管理学（インターズー）、専門基礎分野動物福祉学（インターズー）、現代社会と家庭動物（インターズー）、動物看護の教科書（第1巻）（緑書房）									
授業計画時間数	授業内容									
1~2	人と動物の関わりりの歴史的変遷について学ぶ。									
3~4	動物に関わる法律や規制について学ぶ。									
5~6	5つの自由。について学ぶ。									
7	動物愛護について① 意味、目的、概要									
8	動物愛護について② 動物愛護法について									
9	動物愛護について③ 動物愛護法について									
10	伴侶動物の福祉について学ぶ①									
11	伴侶動物の福祉について学ぶ②									
12	動物病院での福祉について学ぶ①									
13	動物病院での福祉について学ぶ②									
14	定期試験①									
15	テスト返し									
16	前期復習									
17	動物の生活の質（Q O L）について学ぶ									
18	展示動物の福祉について学ぶ①									
19	展示動物の福祉について学ぶ②									
20	産業動物の福祉について学ぶ①									
21	産業動物の福祉について学ぶ②									
22	実験動物の福祉について学ぶ①									
23	実験動物の福祉について学ぶ②									
24	野生動物の福祉について学ぶ①									
25	野生動物の福祉について学ぶ②									
26	飼育動物の災害時の対応									
27	安楽死について									
28	グループワークを通して動物福祉に関する各自の思慮を深める。									
29	後期総復習									
30	定期試験②									

成績評価方法	・ 出席率		定期試験	○	筆記試験
	・ 定期試験や小テスト				実技試験
	・ 平常点				実施しない
成績評価基準	A評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト 8 割以上・平常点 優れている			
	B評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト 7 割以上・平常点 普通			
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト 6 割以上・平常点 やや劣る			
	F評価	出席率80％以下・定期試験や小テスト 6 割以下・平常点 劣る			